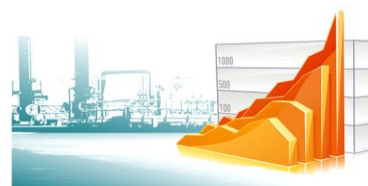


ぎふ経済レポート



令和元年6月分
岐阜県商工労働部

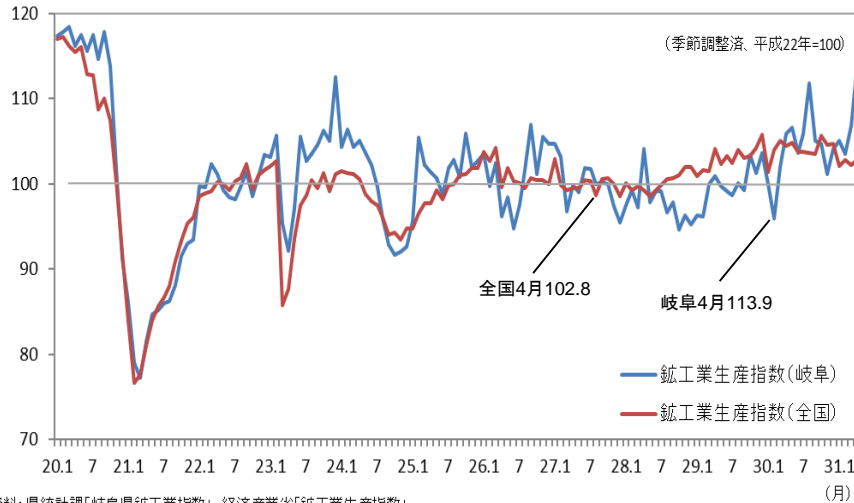
※企業等へのヒアリングは 6月25日～27日を中心に実施し、7月5日に作成。

製造業

- 4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、113.9と前月比6.6%と上昇した。
- 全体では前月比で化学工業の大幅な上昇をはじめ、主要産業で上昇が目立った。

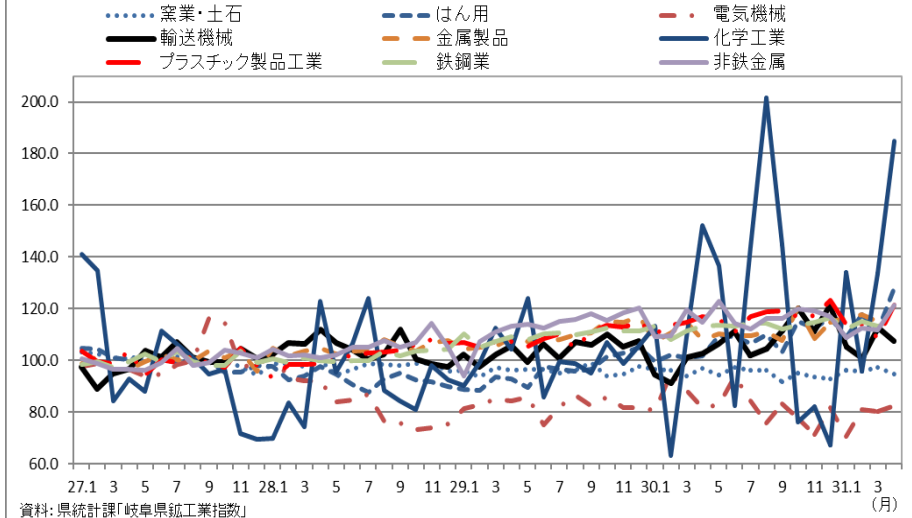
- 4月の主な産業の指数は、化学工業で前月比38.4%と大幅に上昇したほか、はん用機械で同15.1%、プラスチック製品で同11.8%と上昇する等、多くの産業で上昇した。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

(季節調整済、平成22年=100)

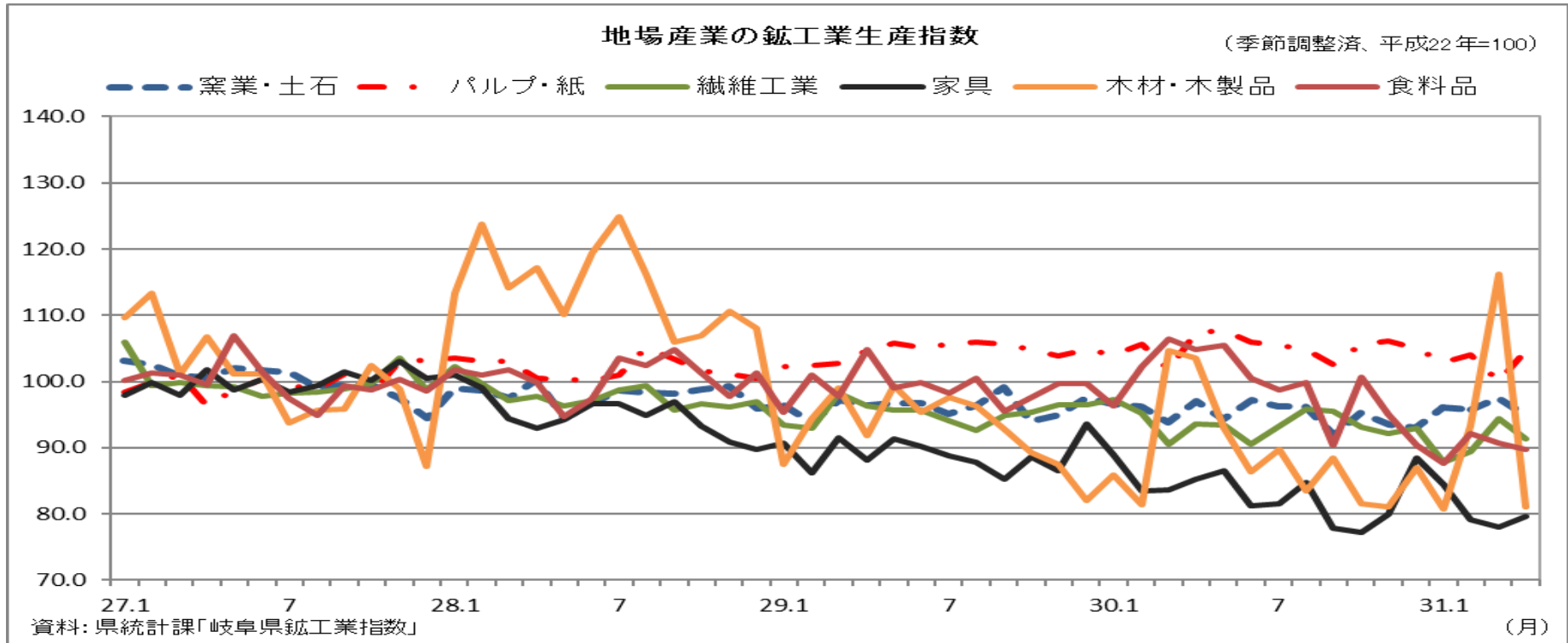


現場の動き

- ◆6月の売上高は、前月比において営業日数の影響もあり増加したが、前年同月比では同水準。(輸送用機械)
- ◆1年先の受注が不透明な中、企業からの問い合わせは増えており、打合せ件数も増加傾向にある。(電気機械)
- ◆受注は継続的に増加傾向にあり、売上高は前年同月比5%の増加となっている。(金属製品)
- ◆全体で約15%落ち込んでいる。国内が堅調な一方で、中国内での需要が約20%落ち込んでいる。(金属製品)
- ◆スマートフォンの生産の落ち込みについては、このままの状況が継続すると予測している。(金属製品)
- ◆物流機械関連では、人手不足に対応するための省力化、無人化、合理化等への設備投資意欲が高まっていることから、受注状況はいまのところ好調である。(生産用機械)
- ◆国内は設備投資に慎重で、予算執行の延期や受注のキャンセル等も一部で発生し始めている。(生産用機械)
- ◆高い水準を維持した横ばい。フル稼働の状態であり、納品時期を先延ばししてもらっている。(プラスチック製品)

製造業-2

○4月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、パルプ・紙で前月比4.7%、家具で同2.1%と上昇したものの、木材・木製品で同▲30.3%と大幅に低下したほか、繊維工業で同▲3.2%、窯業・土石で同▲2.8%、食料品で同▲1.0%と低下する産業が目立った。

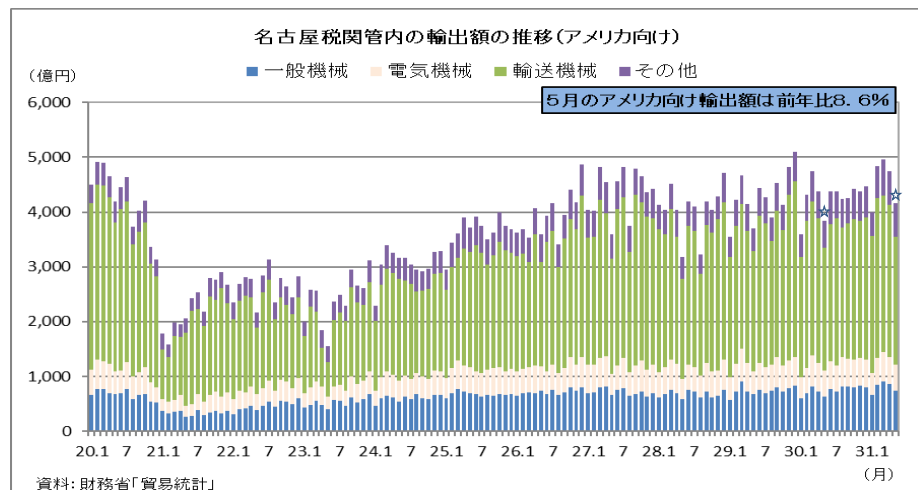
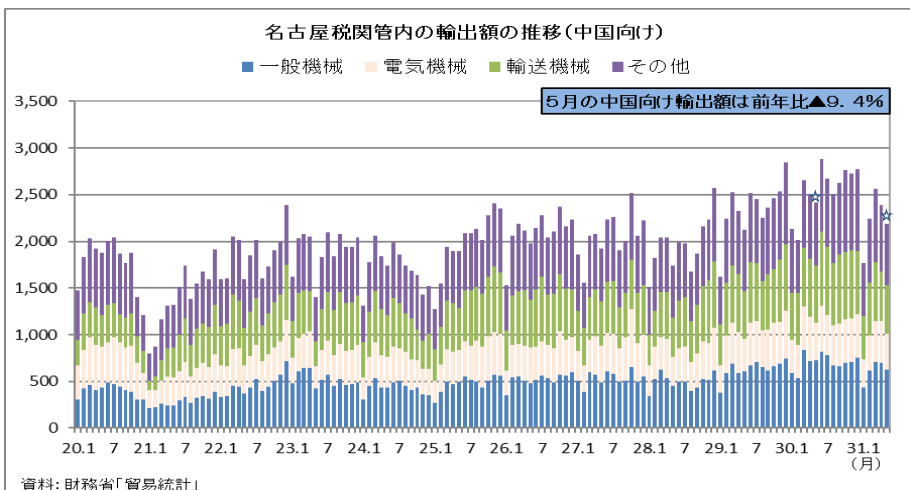
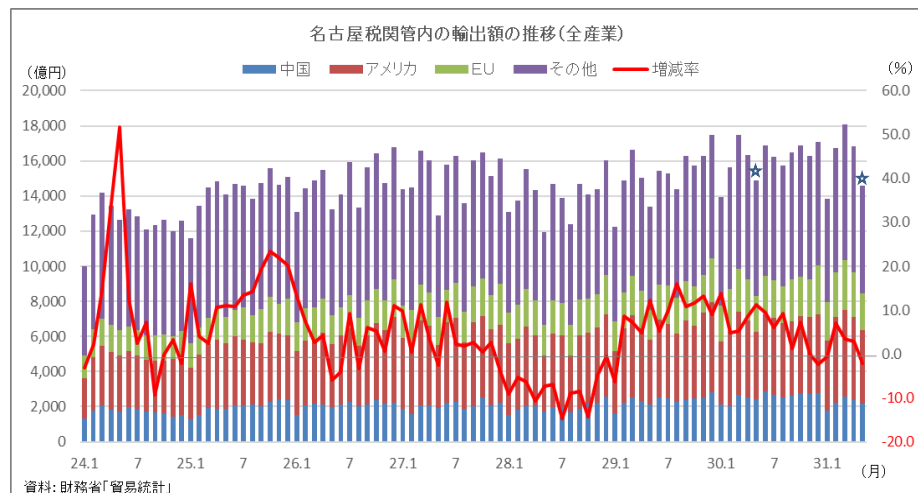
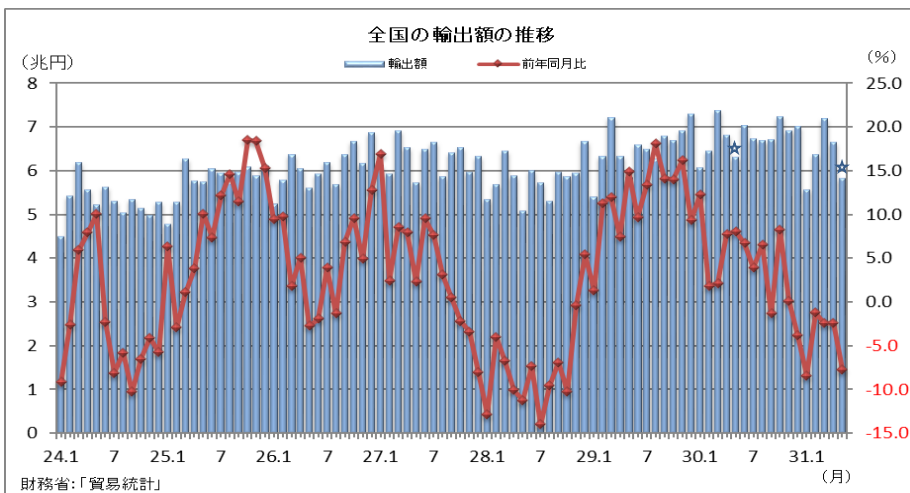


現場の動き

- ◆業界の中でもメンズスーツが特に厳しい。今年度に入ってからだけで6社程度が閉業している。(アパレル)
- ◆暖冬の影響で、例年お盆明けまで続くコート地の受注が、連休明けでストップする等厳しい状況。(アパレル)
- ◆当社としては売上が減少しており、前年に比べて景気は良くない印象。(陶磁器)
- ◆キャラクターデザインの商品や、東京の大学と新機能の商品の開発を進める等、新たな取り組みを実施(陶磁器)
- ◆大型連休の前に需要の先食いがあり、4月の受注は好調だったが、5、6月は若干前年を下回る状況。(紙)
- ◆プラスチックごみが問題となっているが、当社としても今後の動向に注視していく。(紙)

輸 出(名古屋税関管内)

- 5月の輸出額(全国)は、5兆8,353億円の前年同月比▲7.7%と6ヶ月連続で減少となった。
- 5月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆4,590億円で前年同月比▲2.1%と減少し、4ヶ月ぶりに前年同月を下回った。
- 中国向けは、全体で前年同月比▲9.4%と減少し、3ヶ月連続で前年を下回った。
- その内、輸送機械が前年同月比▲15.5%、一般機械で同▲13.8%と大幅に減少した。
- アメリカ向けは、全体で同8.6%と増加し、5ヶ月連続で前年を上回った。



為替・原油価格等の動向による影響について

- ◆鋼材の調達に大変苦慮している。資源国からの輸出減と、オリンピックの影響ではないか。(輸送用機械)
- ◆為替については、ここ1ヶ月の相場で若干円高に振れているが、今のところ影響を受けていない。(輸送用機械)
- ◆ホルムズ海峡でのタンカー攻撃事案により原油価格が一時的に高騰したことが影響したのか、近日中の値上げが決定しており、値上げ幅も大きい。(輸送用機械)
- ◆急激に円高に振れており、弱含む市況に更なる拍車をかけることにならないか懸念している。(生産用機械)
- ◆売上が好調の反面、ホルムズ海峡での事案もあり、今後の原油価格の推移を気にしている。(プラスチック製品)
- ◆原材料価格の高騰を踏まえ、販売価格にも一部転嫁を行ったが、全部は吸収しきれていない。(陶磁器)
- ◆原材料価格は上昇傾向が継続中。輸入に頼っているところもあり、為替や原油価格には大きく左右され、先行きは不透明な状況。(紙)

米中貿易摩擦の影響について

- ◆貿易摩擦による影響については、直接的なものはないが、取引先に影響が出れば、当社もそれに引きずられることとなるだろう。(輸送用機械)
- ◆中国の工場では、受注が減ってきていると聞いている。貿易摩擦の影響が出てきていると推測する。(金属製品)
- ◆貿易摩擦により、中国の景気は更に悪化したため、工作機械、建設機械、産業機械、自動車部品等の中国向け受注が減少してきた。(生産用機械)
- ◆中国は景気刺激策としてインフラ整備への投資を拡大してきたものの、限界が見えてきた。今後、貿易摩擦の長期化により更なる受注減少の恐れがある。(生産用機械)
- ◆受注済の製品に対して、顧客からのキャンセルが続いている。(生産用機械)
- ◆海外からの受注状況については、中国からの受注は引き続き低調。(生産用機械)
- ◆売上高は昨秋がピークであり、現在は貿易摩擦の影響からか、落ち着いている。(はん用機械)

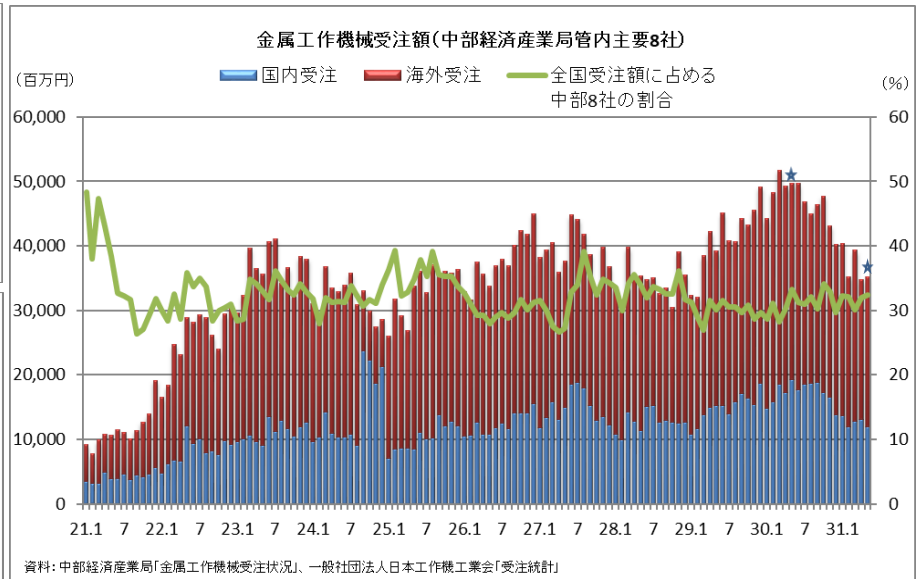
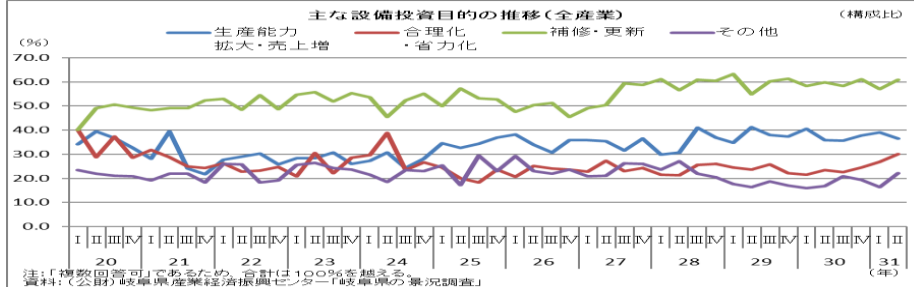
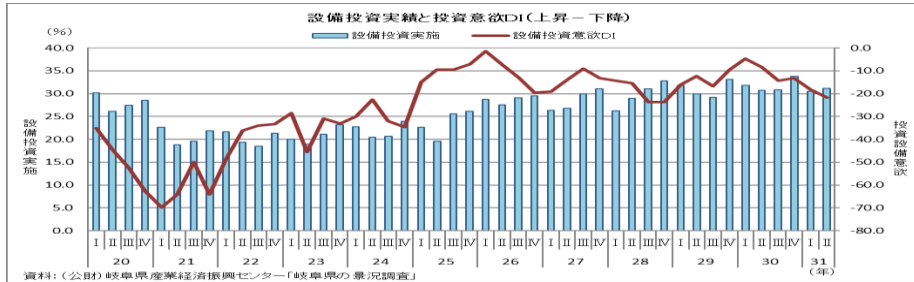
消費増税の影響について

- ◆消費増税前の駆け込み需要に伴う生産増の情報もあり、当社においても、見込受注が増えている。(輸送用機械)
- ◆消費増税の影響は感じない。ユーザーからの問い合わせも聞かない。(生産用機械)
- ◆近年は買い替え期間が長くなる傾向があるので、増税の影響によって動く可能性は低い。(陶磁器)
- ◆消費増税による顧客の消費行動が消極的になることが予想され、集客への影響が懸念される。(食品)
- ◆軽減税率対象外となる「酒」等については、増税前に駆け込み需要が予想される。(食品)

設備投資

○4-6月期の設備投資実施実績は前期比0.7ポイント上昇、設備投資意欲DIは同▲3.6ポイントと低下。目的別では、「生産能力拡大・売上増」が前期比▲2.6ポイントと低下したものの、「合理化・省力化」が同3.2ポイント、「補修・更新」は同3.7ポイントとそれぞれ上昇した。

○5月の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比▲29.2%と7ヶ月連続で前年を下回った。内訳は国内受注では多くの工業向けが不調で、同▲37.5%と6ヶ月連続で前年を下回り、海外向けも同▲24.0%と7ヶ月連続で前年を下回った。



現場の動き

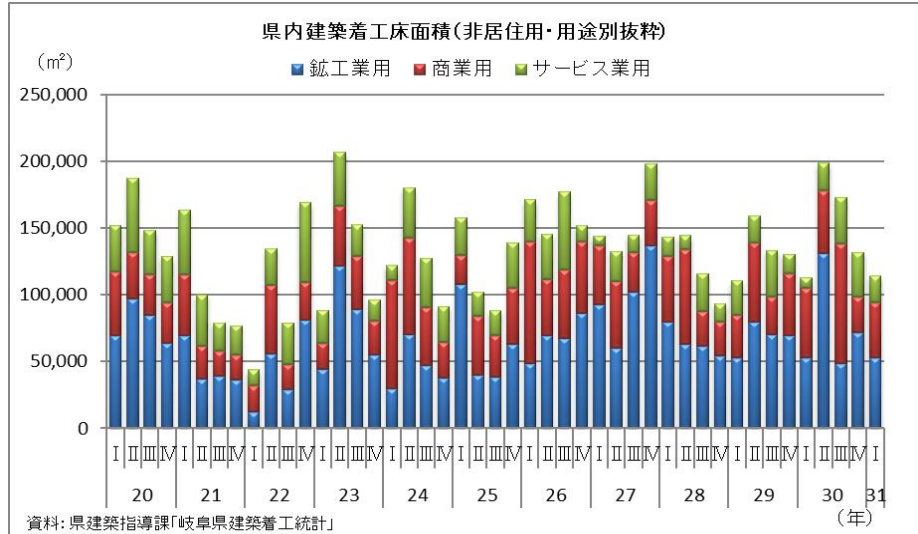
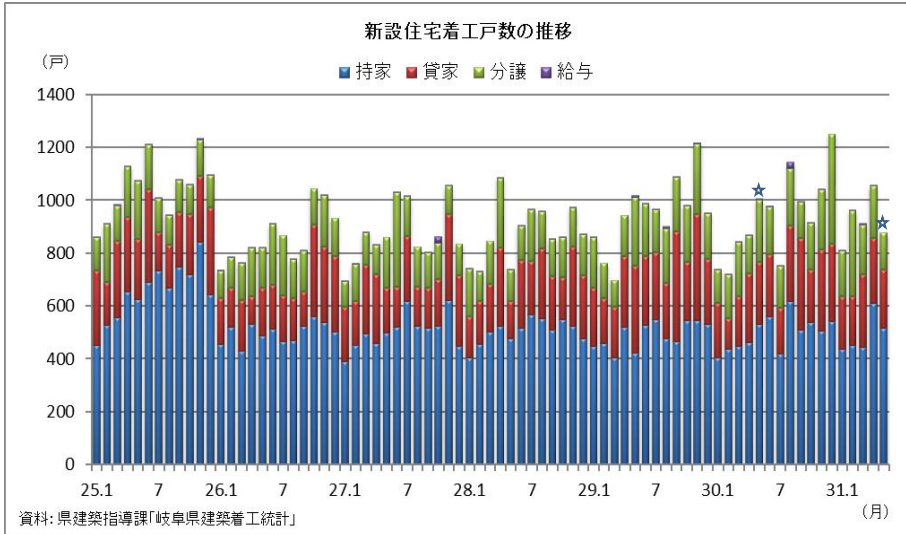
- ◆自動車関係の設備として、20億円程度の新規設備投資を計画している。(輸送用機械)
- ◆対象車両がモデルチェンジをすることから、製品の入れ替えが必要となり、設備投資が発生する。(輸送用機械)
- ◆7月と10月に新規設備導入を予定しており、稼働後は若干の人員増加も考えている。(輸送用機械)
- ◆従業員の意識改革を主体に省エネ投資は継続しており、ガス代、電気代は若干安くなった。(輸送用機械)
- ◆隣接土地を購入した。物流施設を徐々に増やしていきたい。(金属製品)
- ◆投資相談もあり、減速してるわけではないと考えるが、人手不足等の懸念もあり、慎重になっている。(金融)
- ◆投資は引き続き減少傾向。先行き不透明な状況から、大規模投資は控えられている。(金融)

住宅・建築投資

○5月の住宅着工戸数は、前年同月比▲12.7%と6ヶ月ぶりに前年を下回った。

○分譲で前年同月比▲41.1%と大幅な減少をはじめ、貸家で同▲6.4%、持家で同▲2.5%と減少し、全体としても前年同月を下回った。

○1-3月期の建築着工床面積は、鉱工業用で前年同月比▲0.4%、商業用で同▲20.6%と減少したものの、サービス業用で同145.8%と大幅に増加したことから、全体としては同0.8%と8期連続で増加した。

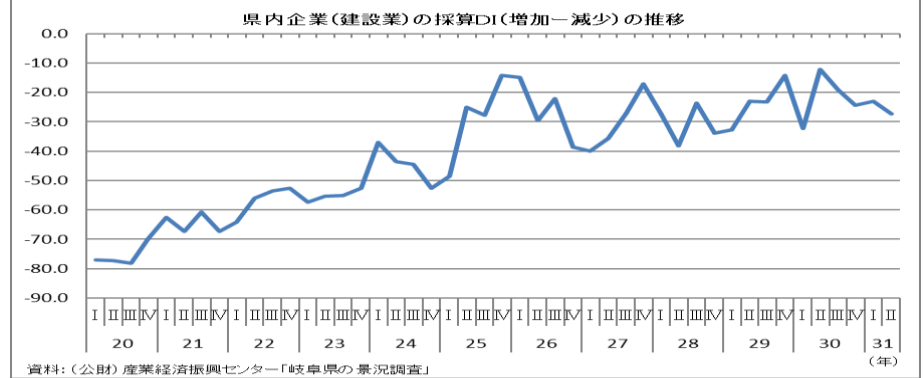
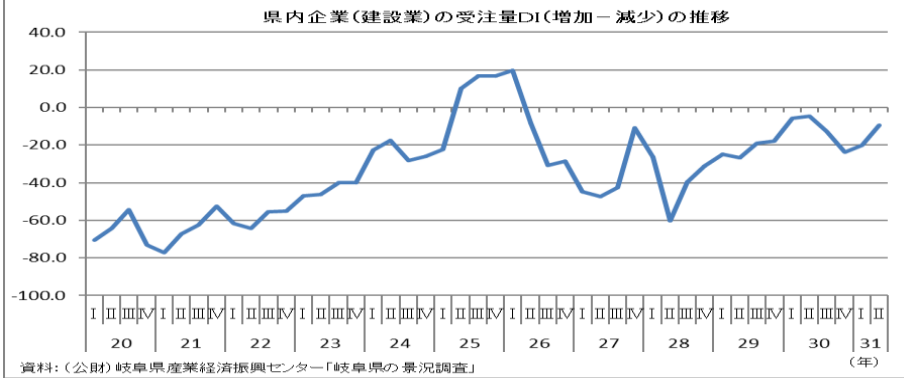
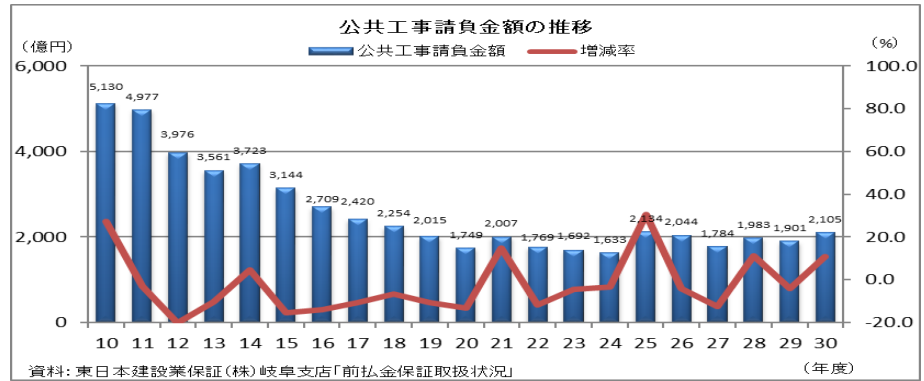
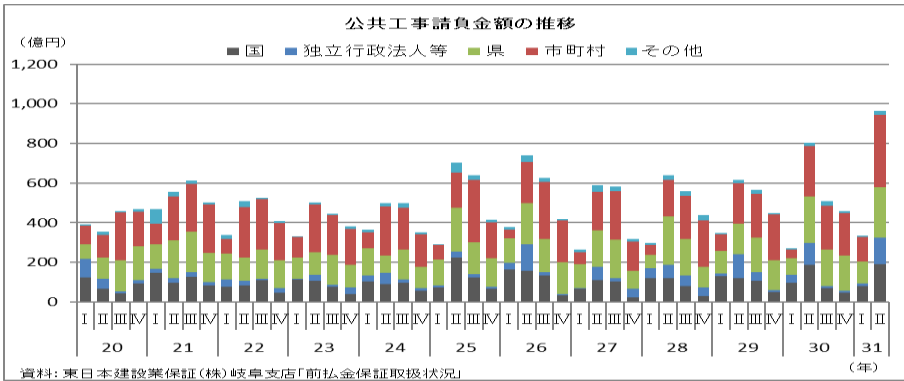


現場の動き

- ◆最近を受注が少し増えており、多少上向きの状況を感じている。しかし、消費増税に関連した駆け込み需要は感じていない。(木材加工)
- ◆6月は多少、材が出てきているように感じている。(木材加工)
- ◆売上は全体で前年同月比110%。4月に高校生2名を新規で採用したが、1名退社してしまった。また、本社社員も1名退社し、現在、改めて募集しているが、なかなか集まらない。(木材加工)
- ◆後継者が名古屋での製材の修行から帰ってきたので、これから一緒にやっていく。(木材加工)
- ◆取引先の働き方改革により、製品の納入時間帯を決めている。昔は朝早くても対応してもらっていたが、今は難しい状況となってる。(木材加工)
- ◆慢性的な人手不足。建設関係の仕事は増えているが、供給が追い付かない。(流通組合)

公共工事

- 4－6月期の発注者別の公共工事請負金額は、市町村で前年同期比43.7%、その他で同42.2%、独立行政法人で同18.1%、県で同7.8%、国で同3.3%増加し、全体で同20.2%増加した。
- 県内建設業の4－6月期の受注量DIは前期比10.5ポイント改善した一方、同採算DIは同▲4.4ポイントと悪化した。



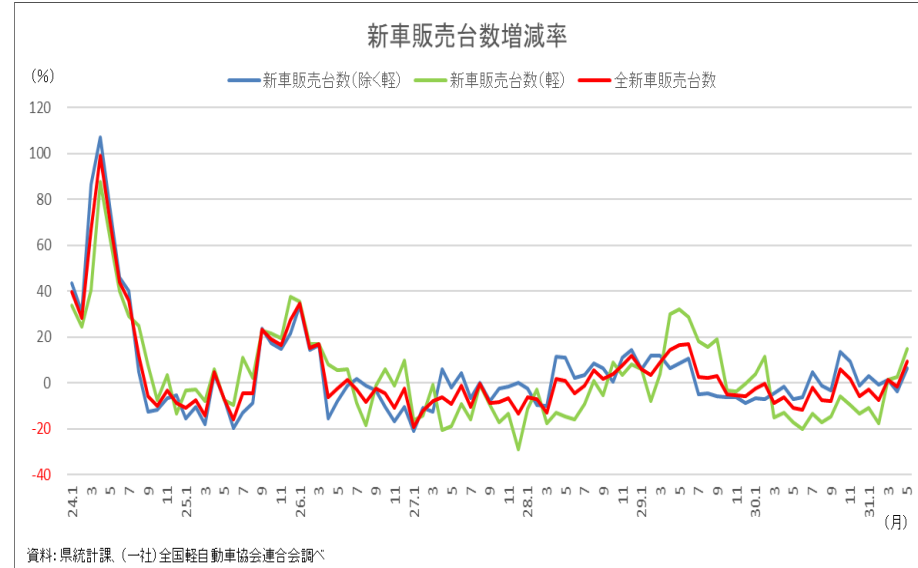
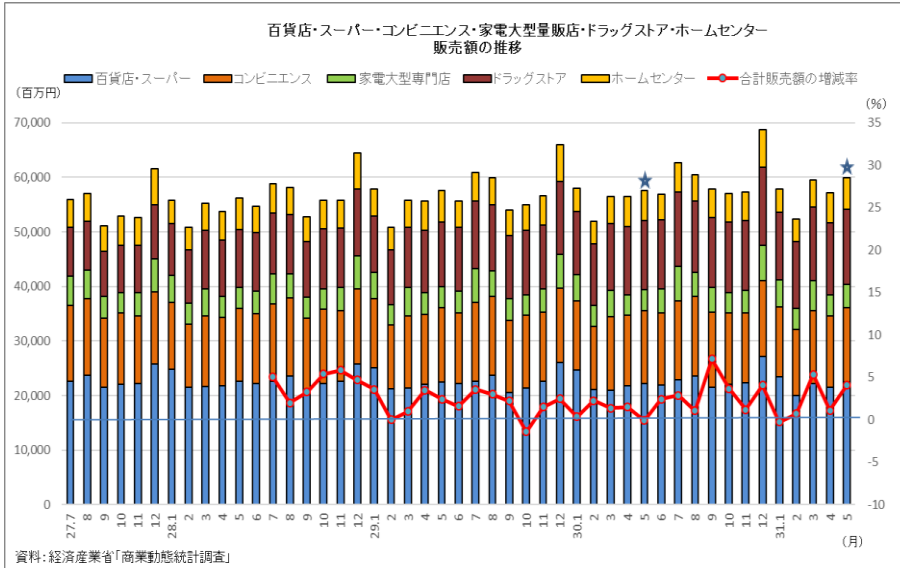
現場の動き

- ◆第1四半期を終えて、工事受注量は昨年程度か若干少ないと感じている。
- ◆今年度は例年以上の発注量が予想されるため、鉄材関係以外の資材価格上昇が予想される。
- ◆中途採用を含め、技術者の不足が顕著。仕事を取りたくても取れない状況が続いている。
- ◆仕事が増えても、人材の確保、育成が進んでいない状況。
- ◆交通誘導員の不足が深刻化。警備会社とM&Aをしても良いかもしれない。(以上、建設業者)

個人消費(流通・小売)

○5月は百貨店・スーパーで前年同月比1.2%、コンビニで同2.6%、家電大型専門店と同8.1%、ドラッグストアで同9.0%、ホームセンターで同5.7%と増加し、全体で同4.1%と4ヶ月連続で前年同月を上回った。

○5月の新車販売(除く軽)は、前年同月比6.5%と2ヶ月ぶりに前年同月を上回り、軽自動車は、同14.8%と3ヶ月連続で前年を上回った。
○合算では同9.4%と、2ヶ月にぶりに前年同月を上回った。

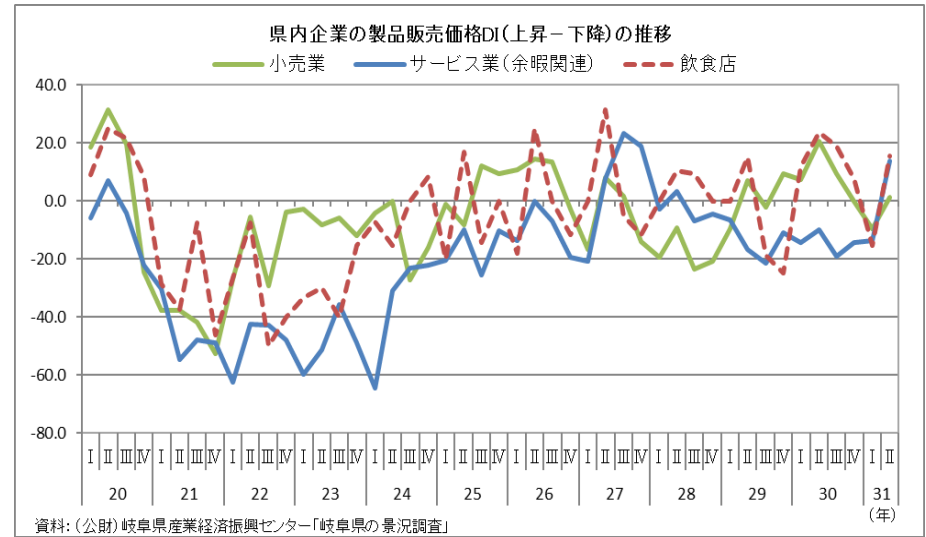
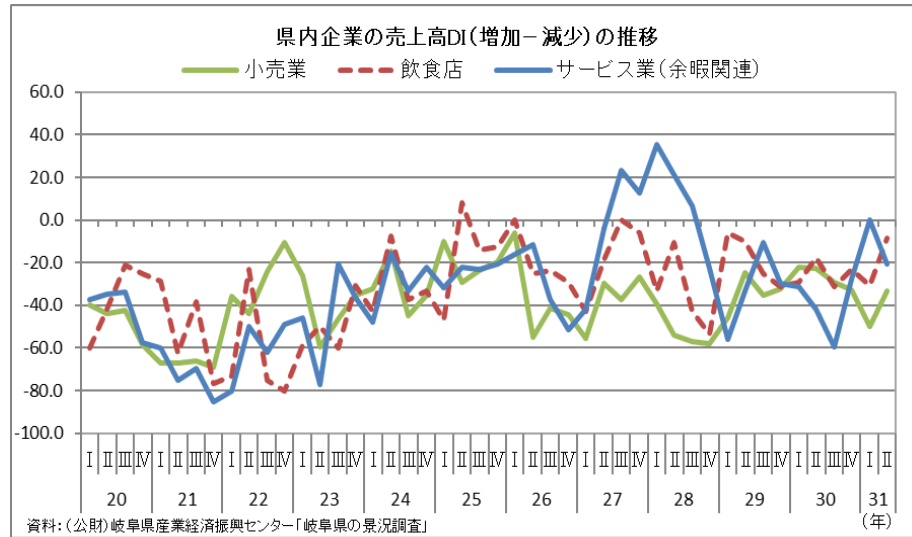


現場の動き

- ◆売上は前年同月比103%、来客は同107%。GWの休日が増加したことが要因。
- ◆ボーナス商戦は、増税の影響から、高額商品を中心に売れるだろう。在庫切れを起こさないよう気にかけている。
- ◆キャッシュレス決済について、6月15日から9月末まで試験的に6店舗で導入。(以上、岐阜市内大型商業施設)
- ◆売上高は前年同月比99.5%。果物、水産部門が好調であり、お中元については、同130%で推移した。
- ◆全店店休日を設けた。前日までの売り切りや開店準備が忙しく、従業員の評価はまちまち。(岐阜市内スーパー)
- ◆レジャー関連の業種であるため、消費増税に伴う需要の減退を懸念している。
- ◆就活サイトで21~25名の新卒採用予定と掲載。アルバイト募集の時給は上昇傾向であり、店舗周辺の小売業の募集時給を参考に決定している。(岐阜市内スポーツ用品店)

個人消費(流通・小売)ー2

- 4-6月期の売上高DIは、小売業で前期比16.7ポイント、飲食店で同22.5ポイントとそれぞれ改善したものの、サービス業(余暇関連)では同▲20.7ポイントと悪化した。
- 同じく販売価格DIは、小売業で前期比22.7ポイント、飲食店で同32.1ポイント、サービス業(余暇関連)で同13.8ポイントとそれぞれ改善した。



現場の動き

- ◆和菓子店の売上は前年同月比104%、飲食店で同93%、ブティックで同100%。
- ◆6月は商店街全体として人通りは少ない。お中元シーズンだが、あまり盛り上がっていない。(以上、柳ヶ瀬商店街)
- ◆日用品・雑貨店の売上は前年同月比70%。商店街のブティックが閉店予定で、来街者が一層減少している。
- ◆値上げするメーカーが多く、仕入れ単価が上昇している。
- ◆和菓子店の売上は同98%。小豆の高騰、紙の値上がりは続いている。(以上、大垣市商店街)
- ◆酒類販売店の売上は前年同月比102%。近隣に廃業した酒屋があり、その分売上は少し伸びた。
- ◆手芸用品店の売上は同90%。消費増税については、単価が低いため影響はない。(以上、多治見市商店街)
- ◆家電量販店の売上は前年同月比143%。昨夏の猛暑でエアコンが品薄になったことが影響してか、今年のエアコンの動きは早い。また、消費増税について、駆け込みの動きがある。
- ◆キャッシュレス決済を導入した。(以上、高山市商店街)

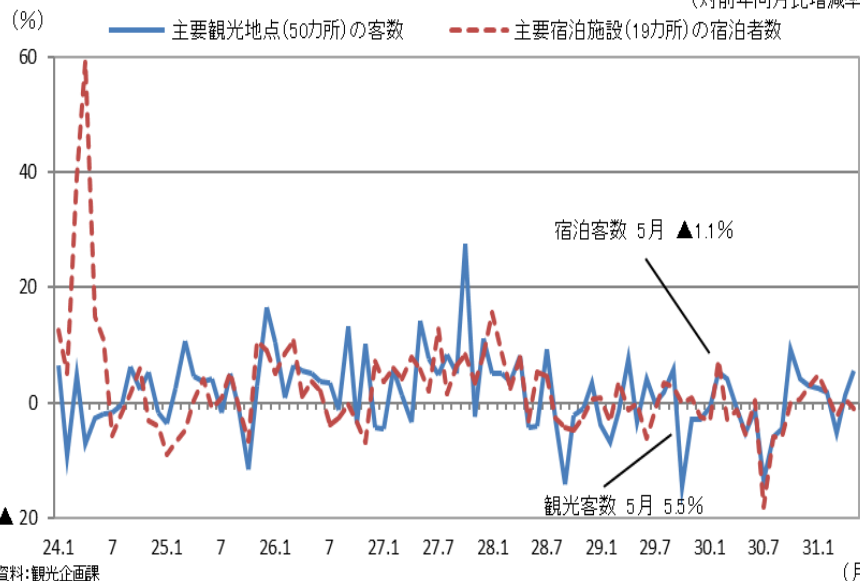
観光

○主要観光地の5月の観光客数は、前年同月比5.5%増加し、2ヶ月連続で前年同月を上回った。主要宿泊施設の宿泊者数は、前年同月比▲1.1%と減少し、2ヶ月ぶりに前年同月を下回った。

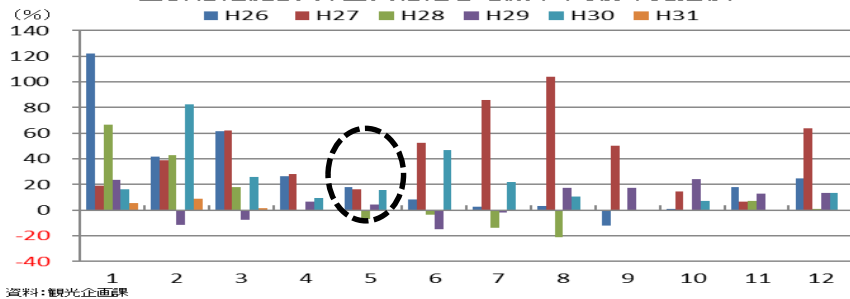
○5月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比▲0.8%と減少し、6ヶ月ぶりに前年同月を下回った。
○平成30年第4四半期の主要観光地の観光宿泊者数は、長良川と高山で増加に転じた。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移

(対前年同月増減率)

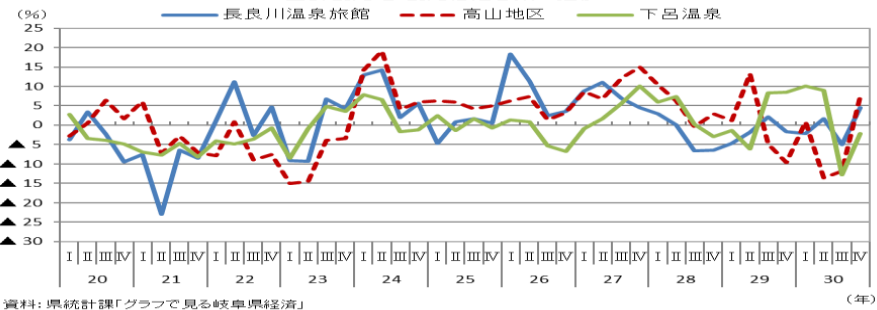


主要宿泊施設 外国人宿泊客増減率(対前年比推移)



主要観光地 観光宿泊客数の推移

(前年同期比増減率)

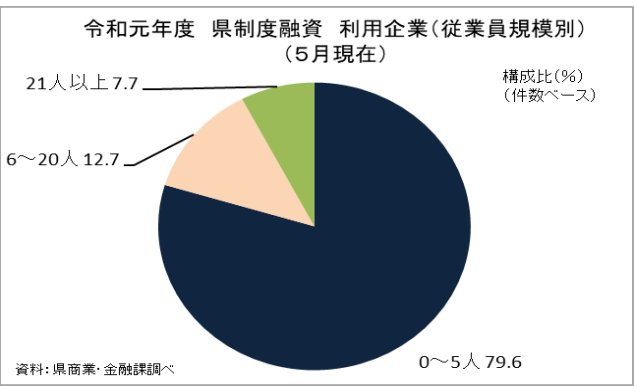
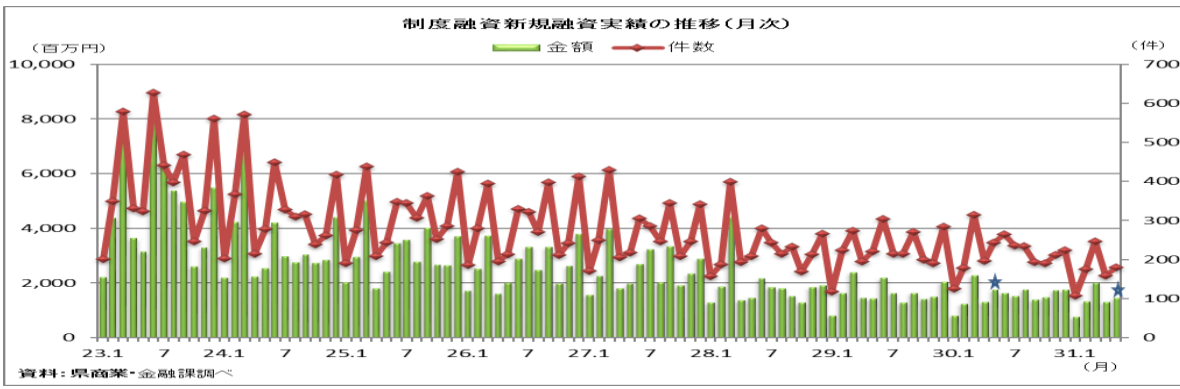
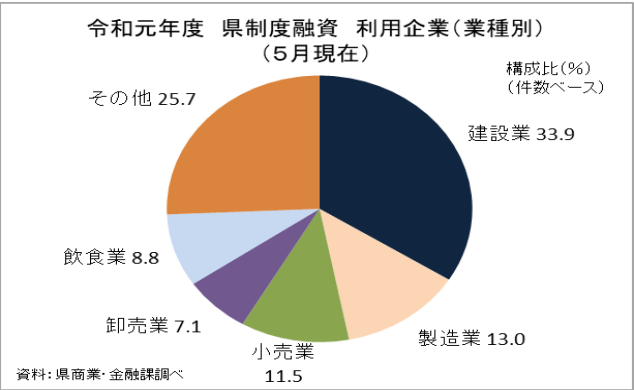
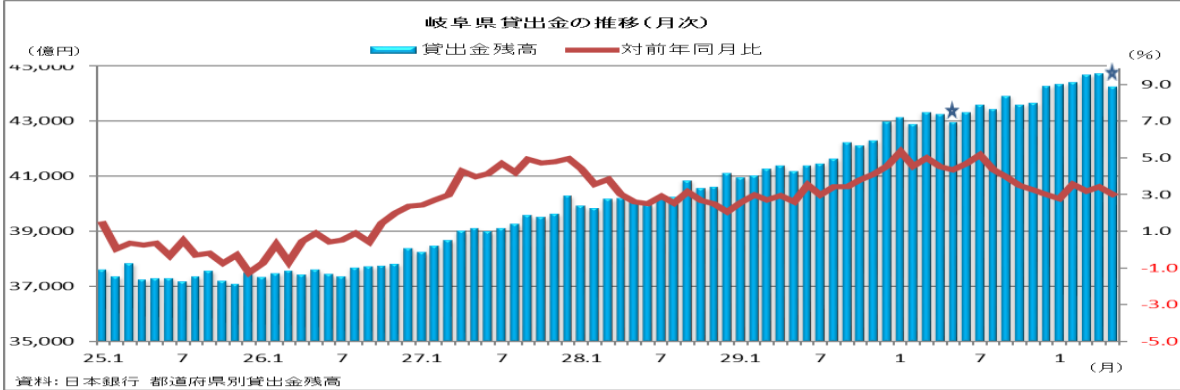


現場の動き

- ◆ヨーロッパからのお客様が増加している。(高山市内の宿泊施設)
- ◆GWの反動減で、需要が低迷している。(岐阜市内、高山市内の宿泊施設)
- ◆今のところ、夏休みのツアー申込は低迷している。(高山市内の宿泊施設)
- ◆外国人技能実習生については、様子見の状態。(岐阜市内、美濃市内、下呂市内の宿泊施設)
- ◆外国人技能実習生の受入を拡大したい。(高山市内の宿泊施設)

資金繰り

- 5月の岐阜県貸出金残高は、4兆4,264億円と前年同月比3.0%とプラス基調が続く。
- 5月の制度融資実績は、金額が1,476百万円で前年同月比▲17.0%と2ヶ月ぶりに減少に転じた。件数は180件で同▲26.2%と、6ヶ月連続で減少となった。
- 従業員規模別では、5人以下の事業所が全体の79.6%を占めている。

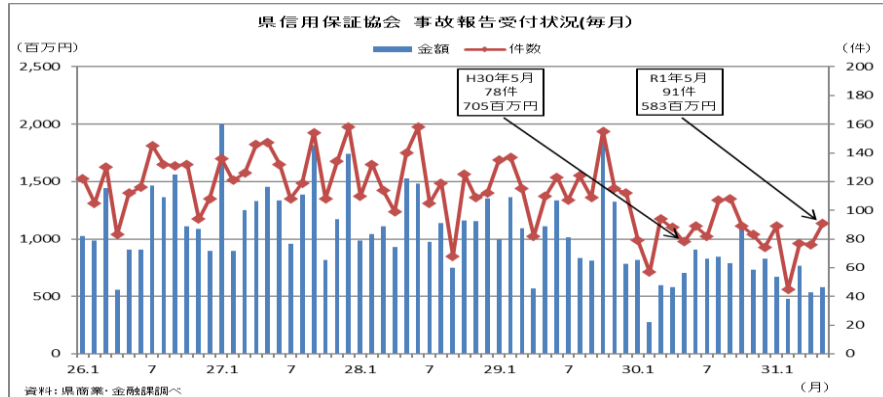
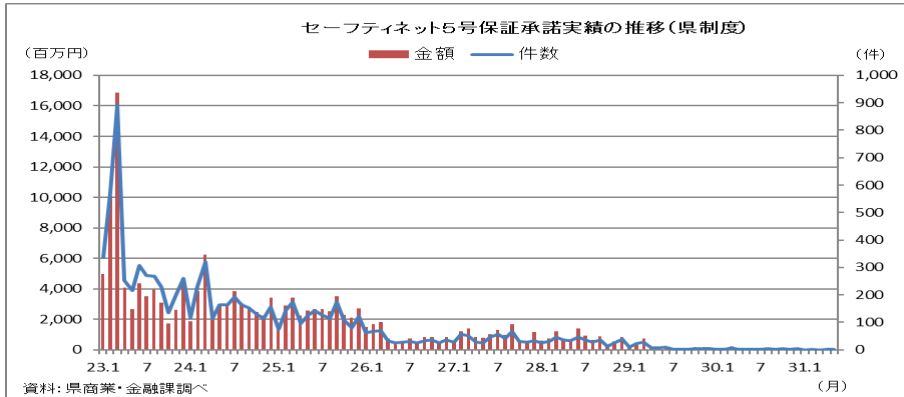
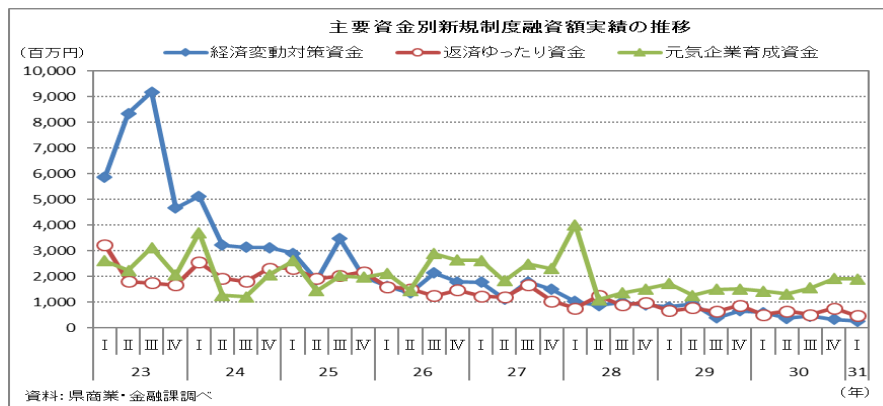
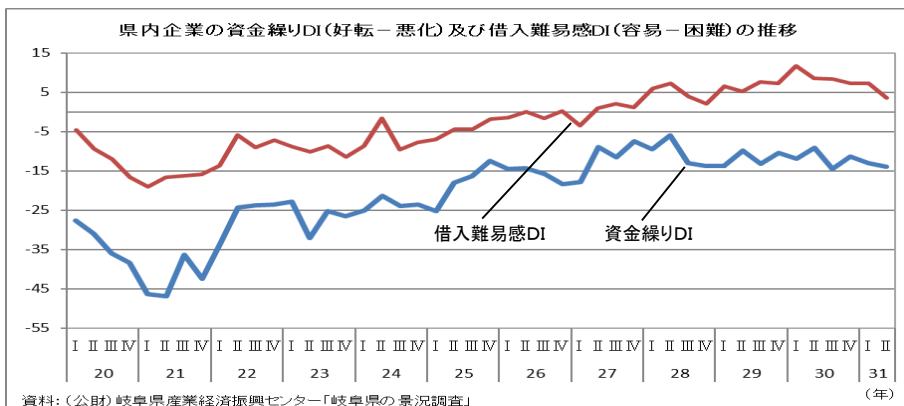


現場の動き

- ◆融資動向については、住宅ローンも堅調であり、大きな変動は見られない。
- ◆融資動向に大きな変化は見られないが、融資件数は前年同月と比べると若干減少している。
- ◆消費増税について、建築着工数が著しく伸びているわけではなく、また車の販売も駆け込みの兆しはない。
- ◆消費増税に関する混乱は現時点では見られない。軽減税率対応レジの導入は、今後加速するかもしれない。
- ◆キャッシュレス決済推進について力を入れており、事業者の導入数も増えている。(以上、金融)

資金繰りー2

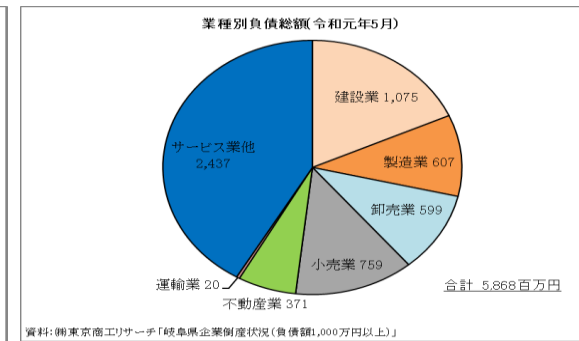
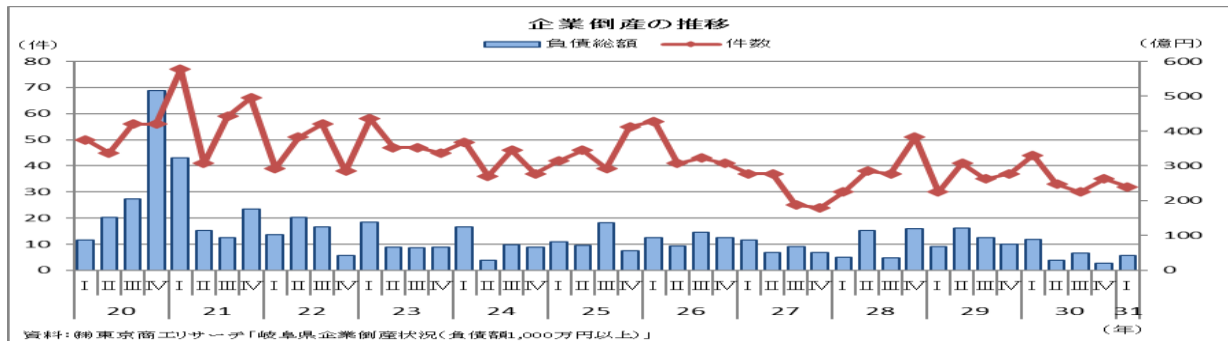
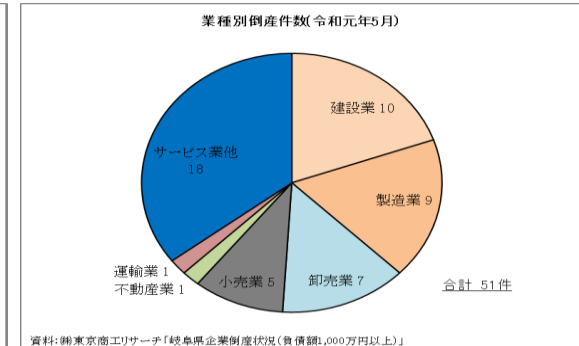
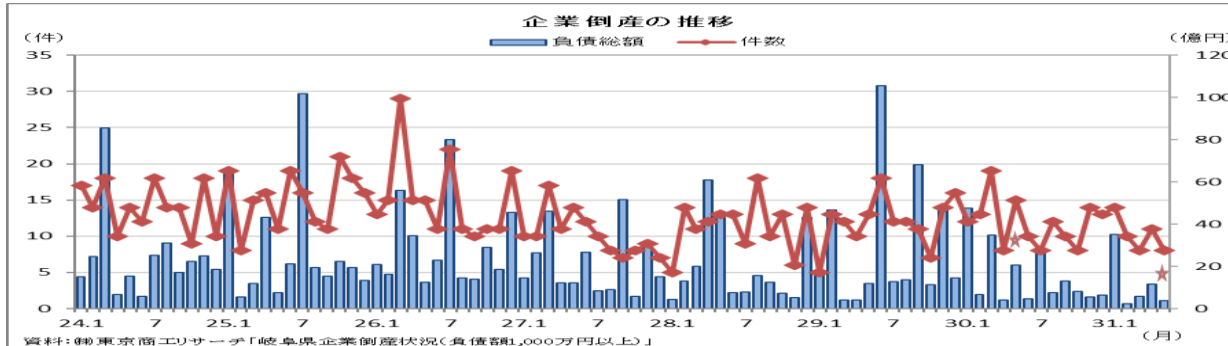
- 県内企業の4-6月期の資金繰りDIは▲10.5で、前期比2.5ポイント改善。同借入難易感DIは7.2で、同▲0.1ポイントと悪化。
- 1-3月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比▲55.5%と2期連続で減少、返済ゆったり資金で同▲5.7%と減少が継続しているものの、元気企業育成資金で同33.2%と4ヶ月連続で増加となった。
- 5月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が1件で前年同月比2件減少、金額は60百万円で同76.5%と増加したものの、全体の利用としては非常に低調に推移。
- 5月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は91件で前年同月比16.7%と4ヶ月ぶりに増加。金額は583百万円で同▲17.3%と2ヶ月連続で低下。



倒産

○5月の倒産件数は前月比3件減少の8件、負債総額は前月比781百万円減少の377百万円となった。

○1月～5月までの累計倒産件数は51件となり、前年同期の67件から16件減少。累計負債総額は5,868百万円となり、前年同期の11,357百万円から5,489百万円減少で推移した。



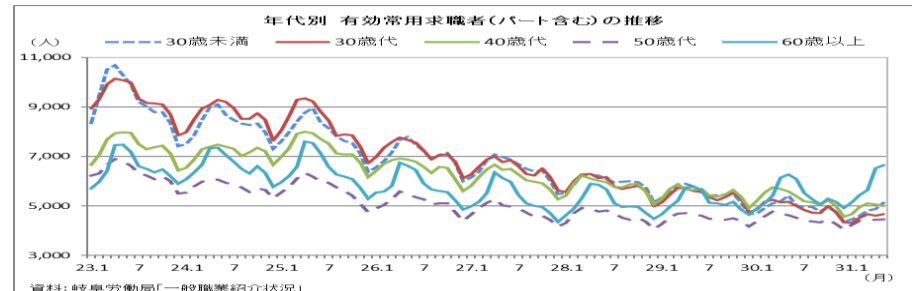
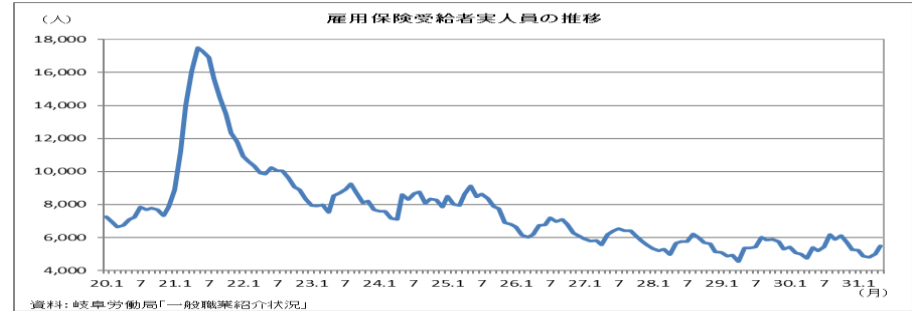
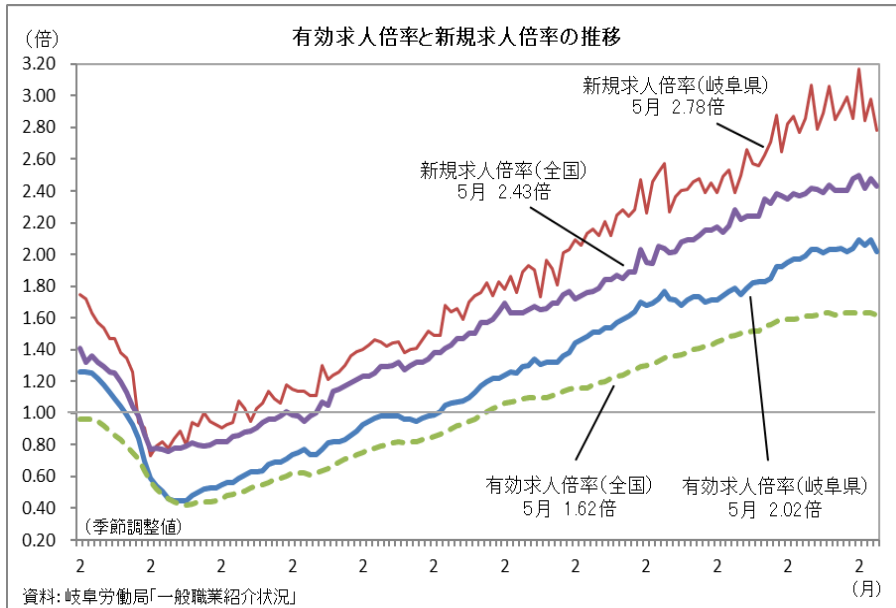
専門機関の分析(東京商工リサーチ)

- ◆半導体関連など中国向け輸出の減少が続く中で、米中貿易摩擦の激化等から、国内景気は後退局面入りした可能性があり、消費税率引き上げによる消費減退の懸念から、不透明感が一層強まっている。
- ◆2019年2月度以降の倒産件数は10件前後で一進一退の推移が続き、小規模企業の倒産が大半を占める状況にあるが、飲食業などを含むサービス業や運輸業では依然として人材不足が深刻問題で、原油高による燃料価格高騰からコスト増加も懸念されるなど、今後、倒産件数が増加に転じる可能性は否定できない。

雇用

- 5月の有効求人倍率は2.02倍と、前月比0.07ポイント低下し、全国で5番目の水準。
- 5月の新規求人倍率は2.78倍と前月より0.20ポイント低下。

- 5月の雇用保険受給者人員は、前年同月比1.5%と上昇し、2ヶ月連続で前年を上回った。
- 年代別有効常用求職者は、60歳以上で前年同月比増加したものの、その他の年代は減少。



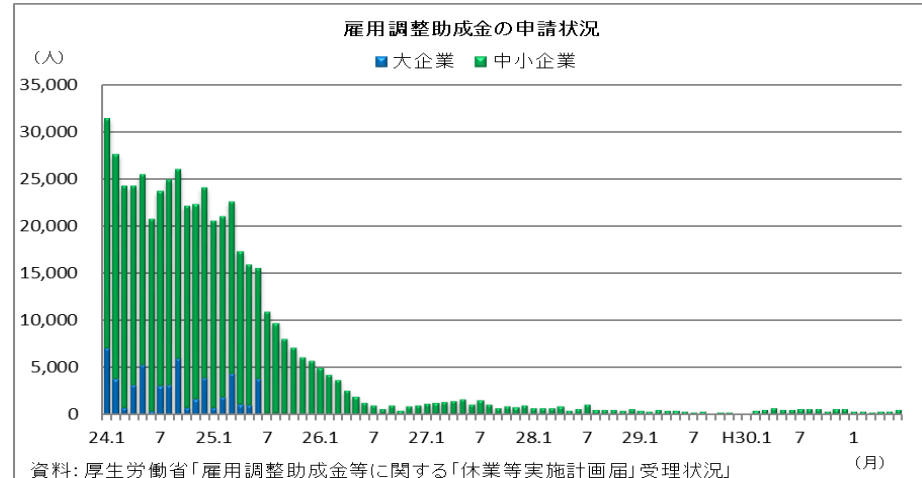
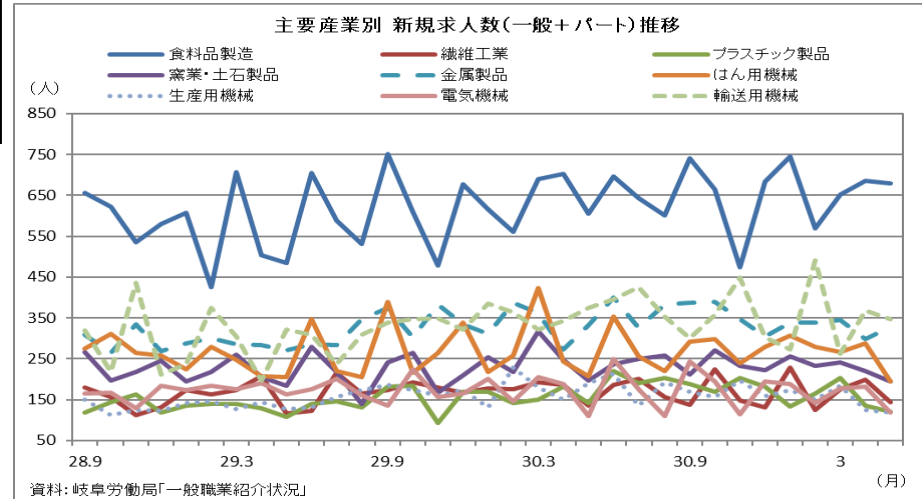
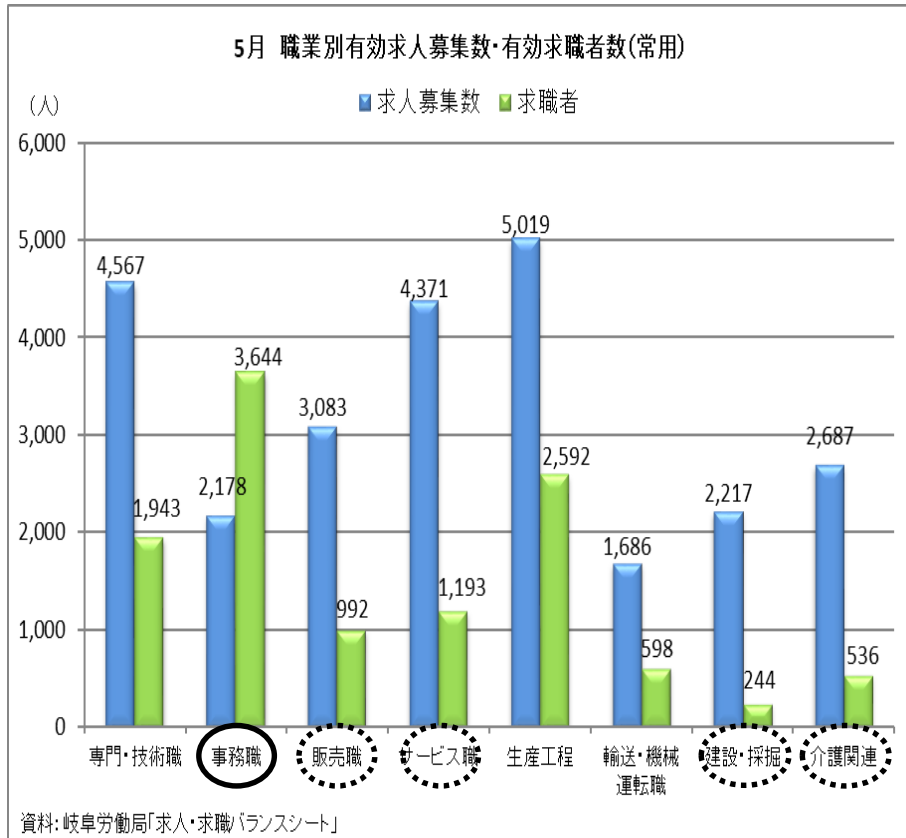
現場の動き

- ◆優秀な人材であれば、外国人でも正社員として起用している。(輸送用機械)
- ◆正社員応募は多いが、契約社員の応募数は前年及び前月を下回り、欠員の補充が追い付いていない。(食品)
- ◆新工場を建設し本格稼働したが、人手が全く足りていない状況である。(電気機械)
- ◆技能実習生(20~30代のベトナム人)を30名程受け入れている。(はん用機械)
- ◆大卒がとにかく採用できない。ハローワークや求人サイトを利用しているが、成果が出ない。(はん用機械)
- ◆人員が減っており、人手不足感はあるが、求人による補充ができていない状態。(アパレル)
- ◆社員・パートともに増やしたいが、募集をしても応募がなく、慢性的に人手不足。(食料品)
- ◆人手不足への対応として、時給を上げた採用募集、機械導入や外注での対応等があるが、地場産業については、人の目が必要になる作業工程も多く、機械化のみでは対応しきれない。(金融)

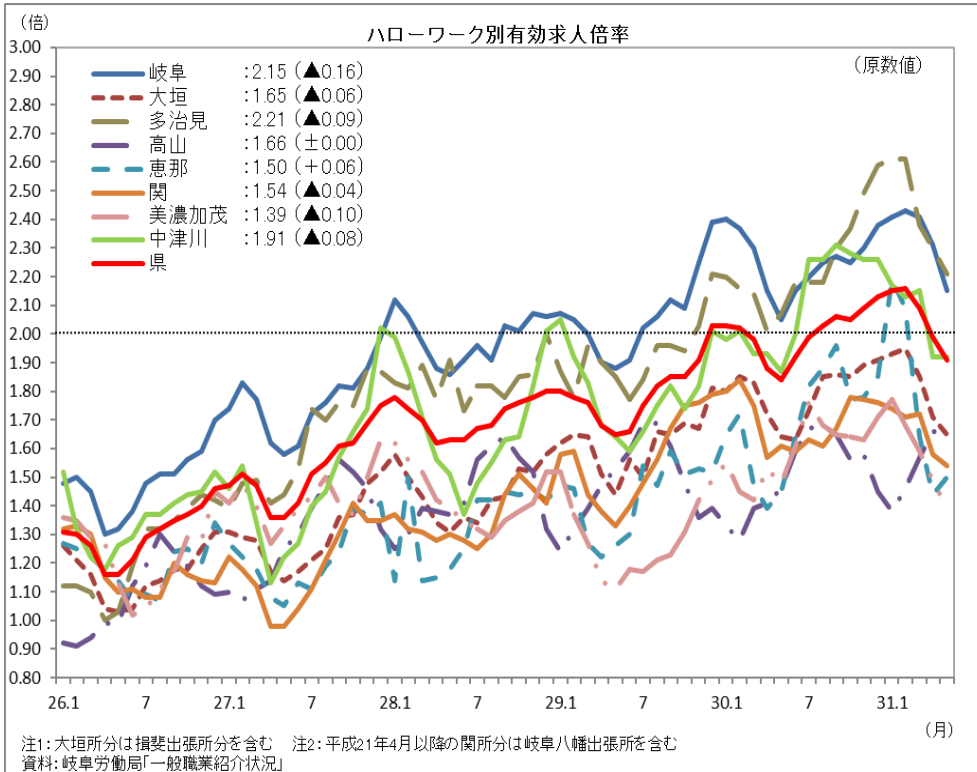
雇 用(職業別)

- 各分野において人手不足の状態。建設・採掘は求人倍率9.1倍、介護関連は求人倍率5.0倍となる等、特に顕著。
- また、販売職3.1倍、サービス職3.7倍などサービス産業においても人手不足は深刻。
- 一方で、事務職の求人倍率は0.6倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

- 5月の主要産業新規求人数は、電気機械で前月比▲34.3%、はん用機械で同▲32.3%、繊維工業で同27.3%と大幅に減少したほか、窯業・土石、プラスチック製品等多くの産業で低下した。



雇用(地域別)



○5月のハローワーク別有効求人倍率は、岐阜、多治見が2倍超と高水準を維持したが、前月比では、恵那以外で低下または横ばいとなった。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数はやや減少、求職者は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数、求職者数ともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

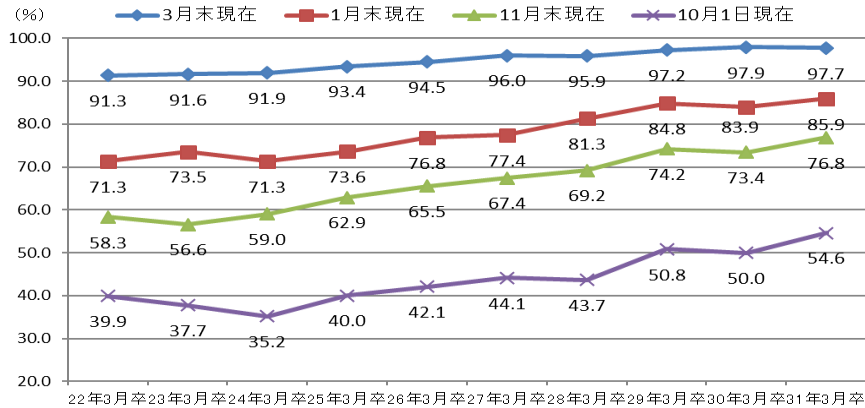
<窓口の様子> ※前月比

- ◆高山、美濃加茂以外は、空いているもしくは横ばい。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

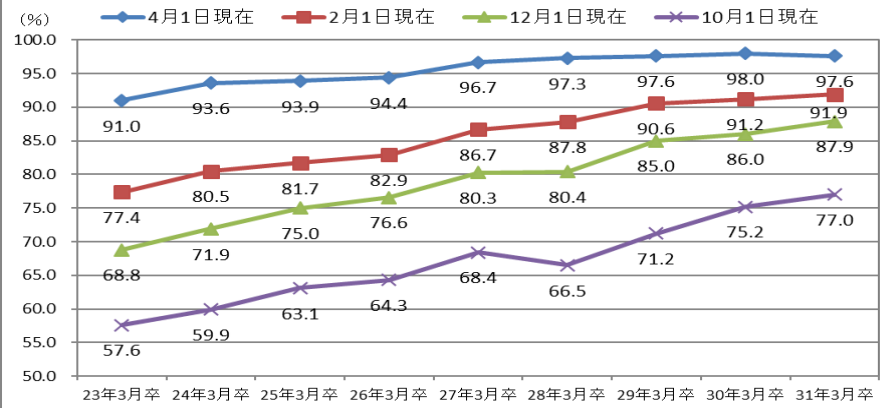
- 岐阜県の平成31年3月末時点の大学・短大卒業者(平成31年3月卒業)の就職内定率は、97.7%であり、前年比▲0.2ポイントと低下した。
- 全国の平成31年4月1日現在の大学・短大卒業者(平成31年3月卒業)内定率は97.6%であり、同▲0.4ポイントと低下した。

新規卒業者(大学・短大等)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者(大学・短大等)の就職状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料: 厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

現場の動き(2020卒の動きなど)

<大学へのヒアリング>

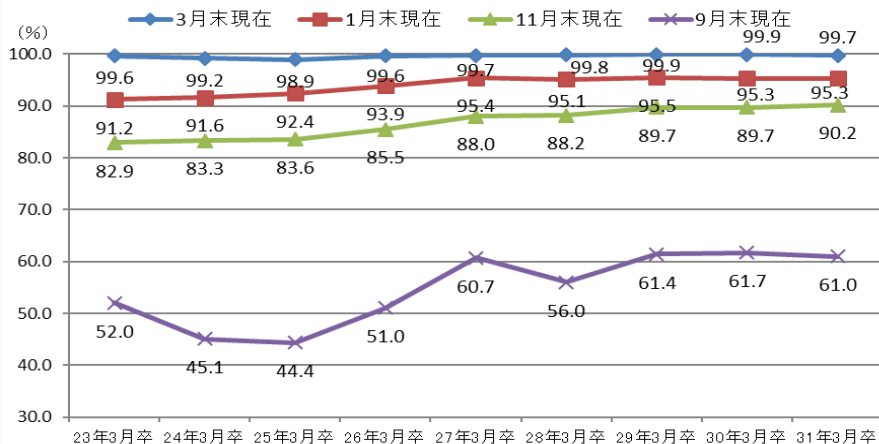
- ◆20卒の内定率は、6月1日時点の調査では40%。昨年の同時期は60%だったのでかなり少ない。
- ◆20卒の内定率は、40%程度。去年よりは良いかなといった印象。
- ◆21卒に対しては、毎週ガイダンスをすすめているところ。相談室の予約は埋まっている状態。
- ◆21卒向けのインターンシップ講座の受講者数は、昨年より減っているのが現状。(以上、岐阜県内大学)
- ◆20卒の内定率は現時点で60%。昨年同時期は50%であったことから、年々早くなっていることを実感する。
- ◆20卒の内定率は、概算で理系が60~70%、文系は40%前後となっている。
- ◆20卒の内定率はまだ出していないが、内定を持ちながらも活動を継続している学生もまだ多くいる。
- ◆21卒に対して、インターンシップに向けての準備段階とする業界研究を前倒して実施した。
- ◆21卒に対して、インターンシッププログラムを単位認定型で実施しており、300~400人が参加している。
- ◆22卒に向けたガイダンスを今年度初めて実施した。(以上、愛知県内大学)

雇 用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の平成31年3月末時点の高校卒業者(平成31年3月卒業)就職内定率は99.7%であり、前年比▲0.2ポイントと低下した。

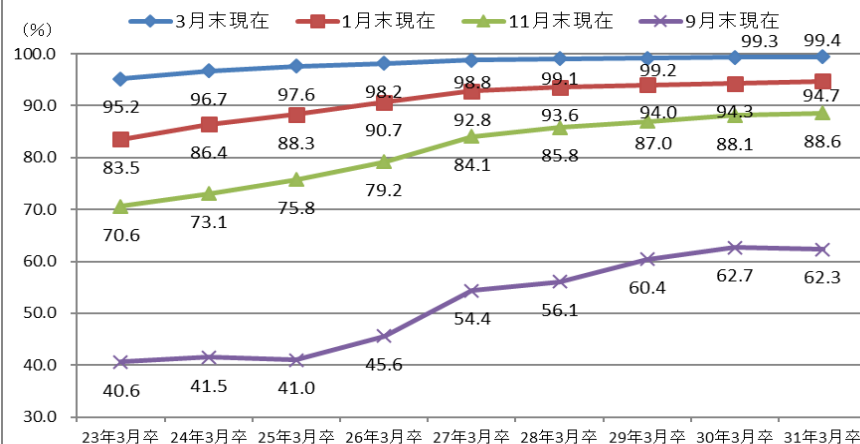
○全国の平成31年3月末時点の高校卒業者(平成31年3月卒業)就職内定率は99.4%であり、同0.1ポイント上昇した。

新規卒業者(高校)の就職内定率の推移<岐阜県>



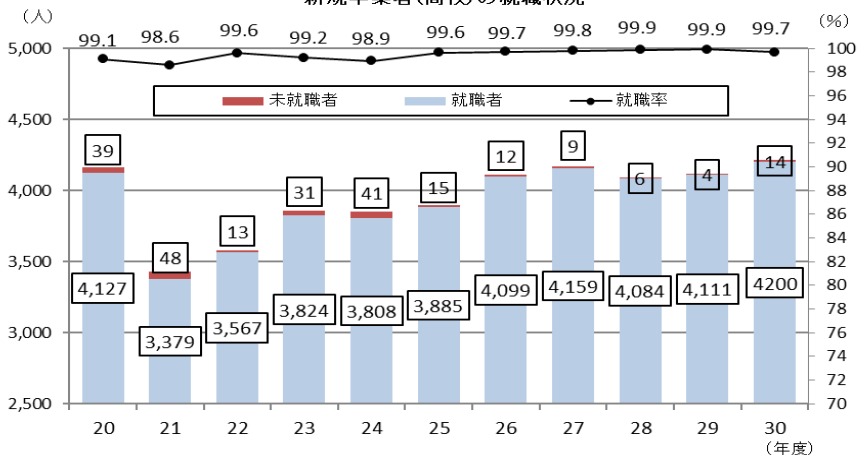
資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

新規卒業者(高校)の就職内定率の推移<全国>



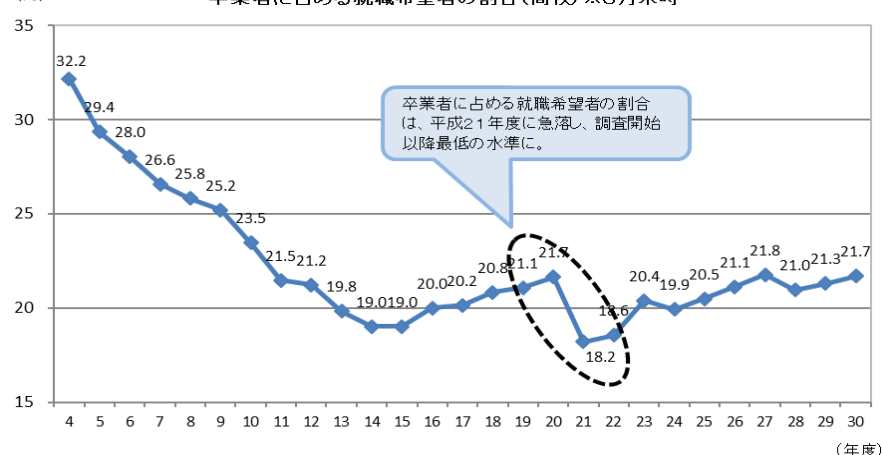
資料: 厚生労働省「高校・中学新卒者の求人・求職・内定状況(高校・中学新卒者)」

新規卒業者(高校)の就職状況



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

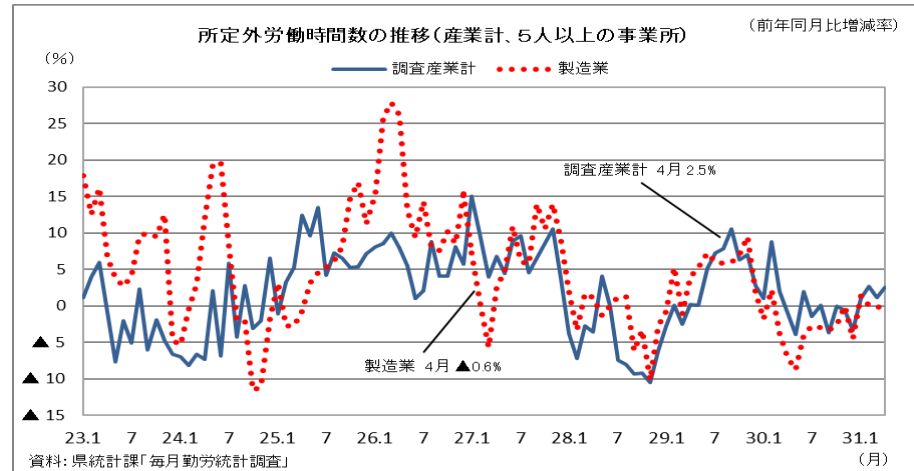
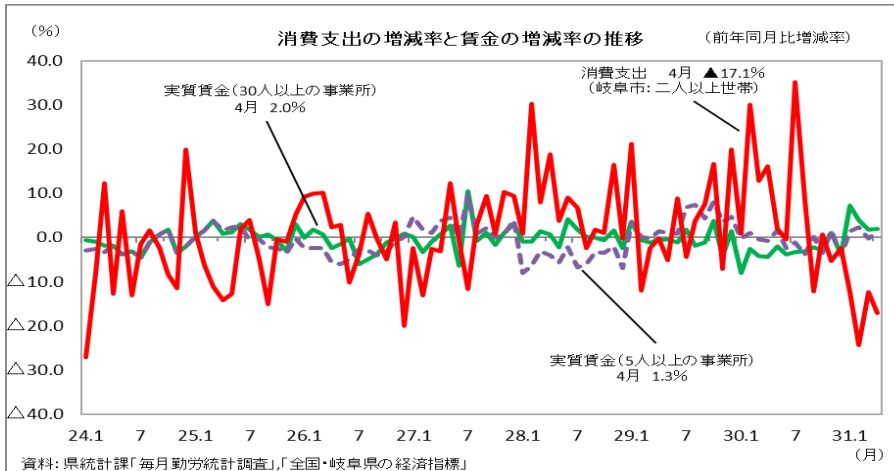
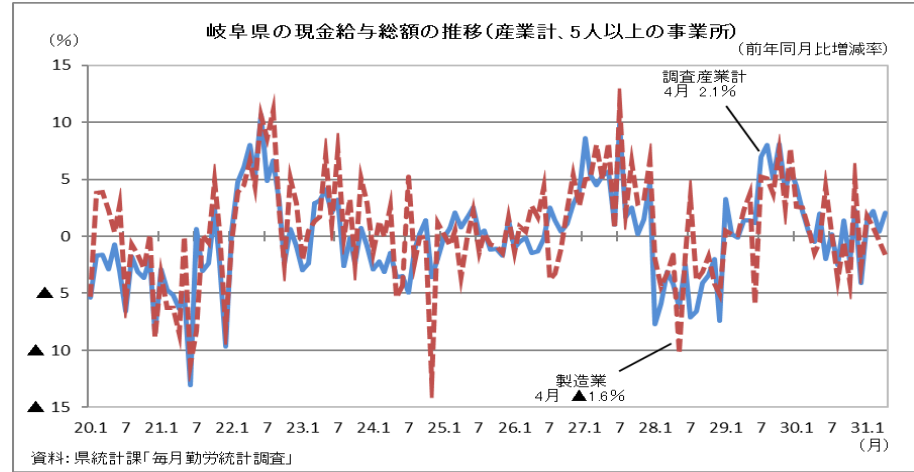
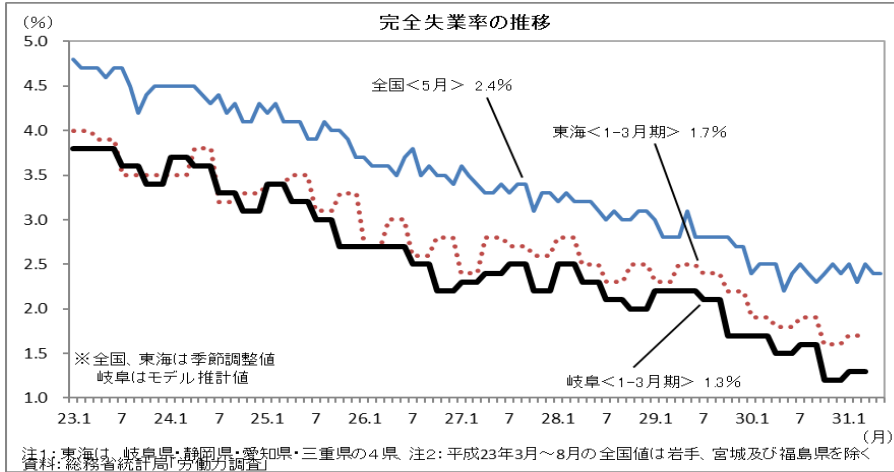
卒業者に占める就職希望者の割合(高校)※3月末時



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

雇 用(完全失業率等)

- 全国の5月の完全失業率は2.4%と前月同水準。岐阜県の1-3月期の平均は1.3%であり、前期比0.1ポイントと上昇。
- 4月の岐阜県現金給与総額は、全産業で前年同月比2.1%と増加、製造業で同▲1.6%と減少。
- 4月の実質賃金増減率は、5人以上の事業所は前年同月比1.3%と増加、30人以上の事業所は同2.0%と増加。消費支出については同▲17.1%と、6ヶ月連続の減少となった。
- 4月の所定外労働時間数は前年同月比2.5%と増加した。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、主要産業の鉱工業生産指数で化学工業が大幅に上昇したほか、はん用機械やプラスチック製品等、多くの産業で上昇が目立った。ヒアリングにおいては、幅広い産業で貿易摩擦の影響を受けているとの声が聞かれ、受注キャンセル等の事象も見られる。足元の受注が好調な企業でも、先行きの見通せない状況となっている。
- 地場産業は、鉱工業生産指数で木材・木製品が前月比で大幅な低下が見られたほか、多くの産業で低下が目立った。原材料費や燃料費の高騰に加え、人手不足も慢性化しており、依然として厳しい状況にある。
- 設備投資は、工作機械受注額については、国内、海外向けとも、前月に引き続き前年を下回っている。ヒアリングにおいては、積極的な姿勢も見られるが、企業にとっては貿易摩擦による先行きの不透明感や人手不足の状況から、慎重な判断を要する。
- 個人消費は、小売店の販売額については、前月に引き続き家電大型販売店やドラッグストアが牽引し、全体としては前年同月を上回った。小売店としては、消費税率の引上げや、それに伴うキャッシュレス化への対応が急務となっている。
- 観光は、観光客数で前年同月を上回ったが、大型連休での需要の先食いによる反動減や宿泊料金の高騰によるインバウンドの減少で、宿泊客数は前年同月を下回った。
- 企業の資金繰りは、借入環境に変化は見られない。一方で、金融機関としては、キャッシュレス化への取組みや消費税率の引上げによる取引先への影響を注視している。
- 雇用面は、有効求人倍率等の関連指標が高止まりする中で、県内中小企業にとっては、依然として人手不足が慢性化した状態にある。企業は、設備投資による効率化や待遇改善等、様々な対策を検討している。